

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）		事業計画期間	平成24年度～平成28年度	
事業実施地区名 （都道府県名）	（ひだがわ） 飛騨川森林計画区 （岐阜県）		事業実施主体	中部森林管理局 岐阜森林管理署	
事業の概要・目的	<p>当事業は、飛騨川森林計画区の下呂市を含む1市2町1村に所在する25,052haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は、岐阜県の中央東部に位置し、森林の現況はヒノキを主体とした人工林が多く、人工林72%、天然林28%となっている。人工林は、スギ10%、ヒノキ67%、カラマツ15%である。</p> <p>当地域は、森林率86%と高い地域であり、銘柄材「東濃檜」の主要な生産地でもあり、木材の持続的な供給を通じ、地域産業の振興に寄与することが期待されている。</p> <p>また、北アルプス南端の霊峰御嶽山などの山岳や飛騨川の渓谷美等の優れた自然景観に恵まれた地域であることから、レクリエーションの森など、森林浴やスキー、登山等保健休養の場としても広く国民に利用されるなど観光資源としての特性も兼ね備えている。</p> <p>このことから、山地災害による人命・施設の被害防備や自然環境の保全、風致景観の維持及び保健休養の場の提供等の機能発揮が期待されている。</p> <p>このため、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p>				
	主な事業内容	森林整備	更新面積	318	ha
			保育面積	2,268	ha
		路網整備	開設延長	8.0	km
			改良延長	6.3	km
	総事業費	2,073,214	千円		
費用対効果分析	総便益（B）	20,808,635	千円		
	総費用（C）	2,135,813	千円		
	分析結果（B / C）	9.74			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 地球温暖化防止対策や国土の保全及び水源かん養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給に関する地域の要請に応えるため、事業の必要性が認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分発揮させる有効な事業と認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備等が効率的に計画されていると認められる。</p>				

別紙様式 7

整理番号 13

便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業  
 事業実施地区名：飛騨川森林計画区  
 （都道府県名：岐阜県）

事業実施主体： 中部森林管理局  
 岐阜森林管理署

（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	4,957,893	
	流域貯水便益	1,258,291	
	水質浄化便益	2,142,643	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,334,024	
環境保全便益	炭素固定便益(樹木固定分)	787,622	
	炭素固定便益(森林土壌蓄積分)	112,471	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	1,872,863	
	木材生産・確保増進便益	6,769,590	
	木材生産確保・増進便益(森林整備分)	619,320	
	木材生産確保・増進便益(路網整備分)	6,150,270	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	92,190	
	森林管理等経費縮減便益	640	
	森林整備促進便益	437,248	
維持管理費縮減便益		43,160	
総便益(B)		20,808,635	
総費用(C)		2,135,813	
費用便益比(B/C)		<b>9.74</b>	

# 森林環境保全整備事業 飛騨川計画区(岐阜県) 事業概要図

対象計画区拡大図

岐阜県

